



## 2024年3月期 決算短信〔日本基準〕（非連結）

2024年5月10日

上場会社名 木村工機株式会社 上場取引所 東  
コード番号 6231 URL <https://www.kimukoh.co.jp/>  
代表者 (役職名) 代表取締役 社長 (氏名) 木村 晃  
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 経営企画室長 (氏名) 西島 務 TEL 050 (3733) 9400  
定時株主総会開催予定日 2024年6月21日 配当支払開始予定日 2024年6月24日  
有価証券報告書提出予定日 2024年6月24日  
決算補足説明資料作成の有無：有  
決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2024年3月期の業績 (2023年4月1日～2024年3月31日)

#### (1) 経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期	13,852	18.4	2,679	70.4	2,682	71.1	2,065	99.2
2023年3月期	11,703	14.7	1,572	44.5	1,567	17.8	1,037	18.2

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2024年3月期	576.99	—	23.7	14.2	19.3
2023年3月期	285.64	—	14.1	9.6	13.4

(参考) 持分法投資損益 2024年3月期 ー百万円 2023年3月期 ー百万円

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期	20,160	9,650	47.9	2,697.91
2023年3月期	17,670	7,754	43.9	2,161.63

(参考) 自己資本 2024年3月期 9,650百万円 2023年3月期 7,754百万円

#### (3) キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2024年3月期	2,000	△1,504	△118	1,716
2023年3月期	548	△2,193	733	1,338

### 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向	純資産 配当率
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
2023年3月期	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2023年3月期	—	0.00	—	40.00	40.00	143	14.0	2.0
2024年3月期	—	0.00	—	90.00	90.00	321	15.6	3.7
2025年3月期 (予想)	—	0.00	—	90.00	90.00		15.3	

注：2024年3月期期末配当金の内訳 普通配当 65円00銭 記念配当25円00銭

なお、2024年3月8日付の「通期業績予想および期末配当予想の修正（特別配当）に関するお知らせ」で公表しました特別配当25円00銭は記念配当25円00銭として取り扱うことといたしました。

### 3. 2025年3月期の業績予想 (2024年4月1日～2025年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	15,000	8.3	3,110	16.1	3,115	16.1	2,105	1.9	588.51

※ 注記事項

(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(2) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数

2024年3月期	3,849,000株	2023年3月期	3,849,000株
2024年3月期	272,148株	2023年3月期	261,625株
2024年3月期	3,579,825株	2023年3月期	3,630,939株

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当期の財政状態の概況 .....	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況 .....	3
(4) 今後の見通し .....	3
(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当 .....	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 .....	3
3. 財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 貸借対照表 .....	4
(2) 損益計算書 .....	6
(3) 株主資本等変動計算書 .....	8
(4) キャッシュ・フロー計算書 .....	10
(5) 財務諸表に関する注記事項 .....	11
(継続企業の前提に関する注記) .....	11
(持分法損益等) .....	11
(セグメント情報等) .....	11
(1株当たり情報) .....	12
(重要な後発事象) .....	12

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当期の経営成績の概況

当事業年度におけるわが国経済は、経済活動の正常化が進み、設備投資の進展や個人消費の持ち直しが見られるなど景気は緩やかな回復基調にありました。一方で、資源・エネルギー価格高騰の長期化、世界的な金融引き締めによる為替変動、地政学リスクの高まりなど、企業の経営環境は依然として不透明な状況が続いております。

このような中、当事業年度の売上高については、コロナ禍で先送りされた設備投資の再開、生産体制の国内回帰の増加等に伴う国内設備投資需要を取り込めたことにより堅調に推移しました。産業分野においては、暑熱対策および空気質改善気運の高まりにより、工場用ゾーン空調機およびルーフトップ外調機を中心に導入が増加しました。商業分野においては、「換気」「省エネ」対策のため、オフィスビルを中心に熱回収外調機の更新需要が増加しました。

利益面においては、当社独自製品の売上が大幅増加したことに加え、生産工程の見直しや部品調達の多様化によるコスト低減などにより営業利益率が順調に改善し、対前年において増加となりました。

製造部門においては、八尾製作所内の主工場棟、管理棟の建て替えが完了しました。2023年9月8日公表の「八尾製作所の一部建物の建て替えに関するお知らせ」のとおり、残る工場棟の建て替えにも着手しております。さらに、八尾製作所および河芸製作所に試験研究棟の建設を予定しております。これにより、生産能力の強化、技術力の発展に一層取り組んでまいります。

また、全製作所においてCO2フリー電力を導入し、カーボンニュートラルに向けた省エネ製品開発とともに製造過程に発生するCO2排出削減へ積極的に取り組んでおります。

この結果、当期の経営成績は、売上高13,852,563千円(前年同期比18.4%増)、営業利益2,679,415千円(同70.4%増)、経常利益2,682,596千円(同71.1%増)、当期純利益2,065,512千円(同99.2%増)となりました。

### (2) 当期の財政状態の概況

#### (資産)

当事業年度末における総資産は、20,160,222千円(前事業年度末17,670,032千円)となり、2,490,190千円増加いたしました。これは主に、有形固定資産の増加1,134,859千円、棚卸資産の増加483,013千円、現金及び預金の増加378,010千円、売上債権の増加367,191千円等によるものであります。

#### (負債)

当事業年度末における負債は、10,510,198千円(前事業年度末9,915,444千円)となり、594,754千円増加となりました。これは主に、未払消費税等の増加274,188千円、未払法人税等の増加260,895千円、未払金の増加192,359千円等によるものであります。

#### (純資産)

当事業年度末における純資産は、9,650,023千円(前事業年度末7,754,588千円)となり、1,895,435千円増加いたしました。これは主に、当期純利益の計上による増加2,065,512千円の計上、自己株式の取得による減少81,077千円、剰余金の配当による減少143,495千円等によるものであります。

## (3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当事業年度末における現金及び同等物（以下「資金」という。）は、税引前当期純利益が2,681,959千円、有形固定資産の取得による支出1,449,536千円、長期借入れによる収入500,000千円、棚卸資産の増加額483,013千円等により1,716,096千円（前事業年度末は1,338,085千円）となりました。

当事業年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は2,000,629千円（前事業年度は548,267千円の収入）となりました。これは主に、税引前当期純利益が2,681,959千円、棚卸資産の増加額483,013千円、減価償却費447,943千円、仕入債務の減少額372,441千円、売上債権の増加額367,191千円等によるものであります。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は1,504,422千円（前事業年度は2,193,632千円の支出）となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出1,449,536千円等によるものであります。

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は118,196千円（前事業年度は733,822千円の収入）となりました。これは主に、長期借入れによる収入500,000千円、短期借入金の純減少額255,000千円、長期借入金の返済による支出176,191千円、配当金の支払額143,519千円、自己株式の取得による支出81,285千円等によるものであります。

## (4) 今後の見通し

今後の景気の見通しにつきましては、エネルギー、資源価格上昇の長期化、世界的な金融引き締めによる為替変動、ウクライナ、中東における地政学リスクの高まりにより、企業の経営環境は不透明な状況が続いております。

空調業界におきましては、地政学リスクやサプライチェーン対策による生産体制の国内回帰等、国内の設備投資需要は今後も続くものと考えられます。さらに、温暖化の傾向や工場現場の人手不足等の影響により、暑熱対策、空気質改善への取り組みも増えてくると考えられます。

このような中、当社は産業分野では、猛暑が続く中、従業員の定着化を狙った現場環境改善のための需要を取り込むとともに、「陽圧換気空調システム」の営業活動を展開してまいります。

商業分野、保健分野では、通常の換気で発生する結露、カビ問題対策のための外調機関連の提案を積極化してまいります。

また、省エネ、省資源、省コスト、省スペース製品の開発を行うとともに、生産工程での脱炭素化の実現に向け積極的に取り組み、サステナビリティを推進してまいります。さらに、斜平形楕円管熱交換器を搭載した新製品の開発、拡販を進め、新たな需要を開拓するとともに、省資源、省コスト化できる製品からシステムまでを提案してまいります。

2025年3月期の業績予想につきましては、売上高15,000百万円、営業利益3,110百万円、経常利益3,115百万円、当期純利益2,105百万円を想定しております。

なお、当該資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因によって異なる場合がございます。

## (5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当

当社は、利益配分を経営上の重要事項と認識し、将来の事業展開と経営体質の強化のために必要な内部留保を確保しつつ、継続的に安定した配当を実施していくことを基本方針とし、株主還元の一層の拡充を意識しております。

当期の配当につきましては、2024年3月8日公表の「通期業績予想および期末配当予想の修正（特別配当）に関するお知らせ」のとおり、当期の業績および財務状況を勘案するとともに、八尾製作所の主要建屋の竣工を記念いたしまして、1株あたり90円（内訳については、普通配当65円00銭、特別配当25円00銭と発表しておりましたが、普通配当65円00銭、記念配当25円00銭と変更いたします。）とすることに決定いたしました。

次期の配当については、上記基本方針に基づき、1株当たり90円とする予定です。今後も、経営基盤の強化と自己資本利益率の維持向上に取り組むとともに、企業価値の持続的成長を図ってまいります。

## 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社は、国内の同業他社との比較可能性を確保するため、会計基準につきましては日本基準を適用しております。

## 3. 財務諸表及び主な注記

## (1) 貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2023年3月31日)	当事業年度 (2024年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,338,085	1,716,096
受取手形	435,453	337,044
電子記録債権	2,241,875	3,351,334
売掛金	2,605,611	1,961,752
製品	607,489	1,390,006
仕掛品	670,776	283,753
原材料及び貯蔵品	764,510	852,030
前渡金	7,876	127
前払費用	78,701	88,634
その他	1,202	5,469
貸倒引当金	△20,114	△21,553
流動資産合計	8,731,468	9,964,695
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	2,132,290	4,288,699
構築物（純額）	100,656	252,623
機械及び装置（純額）	759,306	814,829
車両運搬具（純額）	6,052	8,825
工具、器具及び備品（純額）	215,999	241,492
土地	3,168,801	3,171,575
リース資産（純額）	153	—
建設仮勘定	1,288,315	28,388
有形固定資産合計	7,671,575	8,806,434
無形固定資産		
ソフトウェア	109,366	86,909
リース資産	282	—
ソフトウェア仮勘定	25,665	75,315
その他	848	805
無形固定資産合計	136,161	163,030
投資その他の資産		
投資有価証券	38,306	56,143
長期前払費用	10,356	6,351
繰延税金資産	825,868	891,899
その他	282,835	298,207
貸倒引当金	△26,539	△26,539
投資その他の資産合計	1,130,827	1,226,062
固定資産合計	8,938,564	10,195,527
資産合計	17,670,032	20,160,222

(単位：千円)

	前事業年度 (2023年3月31日)	当事業年度 (2024年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
電子記録債務	1,404,242	1,154,813
買掛金	584,404	461,391
短期借入金	1,805,000	1,550,000
1年内返済予定の長期借入金	148,066	167,200
リース債務	480	—
未払金	246,594	438,954
未払費用	50,867	51,106
未払法人税等	259,234	520,129
未払消費税等	20,452	294,641
契約負債	15,806	34,288
預り金	39,452	98,484
賞与引当金	228,773	282,053
役員賞与引当金	23,309	40,288
製品保証引当金	8,192	9,696
流動負債合計	4,834,875	5,103,047
固定負債		
長期借入金	2,448,350	2,753,025
資産除去債務	103,161	103,161
退職給付引当金	2,223,945	2,243,092
役員退職慰労引当金	305,112	307,872
固定負債合計	5,080,568	5,407,151
負債合計	9,915,444	10,510,198
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	744,896	744,896
資本剰余金		
資本準備金	637,896	637,896
その他資本剰余金	59,754	71,526
資本剰余金合計	697,650	709,422
利益剰余金		
利益準備金	117,500	117,500
その他利益剰余金		
別途積立金	2,650,000	2,650,000
繰越利益剰余金	3,991,328	5,913,345
利益剰余金合計	6,758,828	8,680,845
自己株式	△458,297	△509,457
株主資本合計	7,743,078	9,625,706
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	11,510	24,317
評価・換算差額等合計	11,510	24,317
純資産合計	7,754,588	9,650,023
負債純資産合計	17,670,032	20,160,222

## (2) 損益計算書

(単位：千円)

	前事業年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当事業年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
売上高	11,703,242	13,852,563
売上原価		
製品期首棚卸高	486,035	607,489
当期製品製造原価	7,131,920	8,422,757
合計	7,617,956	9,030,247
製品期末棚卸高	607,489	1,390,006
製品売上原価	7,010,466	7,640,240
売上総利益	4,692,776	6,212,322
販売費及び一般管理費	3,119,977	3,532,907
営業利益	1,572,798	2,679,415
営業外収益		
作業くず売却益	29,737	25,607
補助金収入	—	6,258
その他	5,031	17,376
営業外収益合計	34,768	49,241
営業外費用		
支払利息	31,186	40,525
債権売却損	8,052	5,084
その他	500	450
営業外費用合計	39,739	46,059
経常利益	1,567,826	2,682,596
特別損失		
固定資産除却損	141,289	636
特別損失合計	141,289	636
税引前当期純利益	1,426,537	2,681,959
法人税、住民税及び事業税	463,340	687,508
法人税等調整額	△73,943	△71,060
法人税等合計	389,396	616,447
当期純利益	1,037,141	2,065,512

## 製造原価明細書

区分	注記 番号	前事業年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)		当事業年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)	
		金額 (千円)	構成比 (%)	金額 (千円)	構成比 (%)
I 材料費	※1	3,998,125	52.7	4,127,123	50.8
II 労務費		1,596,266	21.1	1,847,820	22.7
III 経費		1,984,910	26.2	2,149,593	26.5
当期総製造費用		7,579,302	100.0	8,124,537	100.0
期首仕掛品棚卸高		266,464		670,776	
合計		7,845,766		8,795,314	
期末仕掛品棚卸高		670,776		283,753	
他勘定振替高	※2	43,069		88,804	
当期製品製造原価		7,131,920		8,422,757	

(注) ※1 主な内訳は、次のとおりであります。

項目	前事業年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当事業年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
外注費 (千円)	1,310,522	1,399,102
減価償却費 (千円)	292,814	356,751

※2 内訳は、次のとおりであります。

項目	前事業年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当事業年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
試験研究費 (千円)	29,820	25,038
建設仮勘定 (千円)	13,248	63,488
その他 (千円)	—	277
合計 (千円)	43,069	88,804

(原価計算の方法)

当社の原価計算は、個別原価計算による実際原価計算等であります。

## (3) 株主資本等変動計算書

前事業年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

(単位: 千円)

	株主資本							
	資本金	資本剰余金			利益剰余金			
		資本準備金	その他資本剰余金	資本剰余金合計	利益準備金	その他利益剰余金		利益剰余金合計
					別途積立金	繰越利益剰余金		
当期首残高	744,896	637,896	59,754	697,650	117,500	2,650,000	3,046,796	5,814,296
当期変動額								
剰余金の配当							△92,609	△92,609
自己株式の取得								
自己株式の処分								
当期純利益							1,037,141	1,037,141
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)								
当期変動額合計	—	—	—	—	—	—	944,531	944,531
当期末残高	744,896	637,896	59,754	697,650	117,500	2,650,000	3,991,328	6,758,828

	株主資本		評価・換算差額等		純資産合計
	自己株式	株主資本合計	その他有価証券 評価差額金	評価・換算 差額等合計	
当期首残高	△292,226	6,964,617	8,777	8,777	6,973,395
当期変動額					
剰余金の配当		△92,609			△92,609
自己株式の取得	△166,071	△166,071			△166,071
自己株式の処分		—			—
当期純利益		1,037,141			1,037,141
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)			2,732	2,732	2,732
当期変動額合計	△166,071	778,460	2,732	2,732	781,193
当期末残高	△458,297	7,743,078	11,510	11,510	7,754,588

当事業年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

(単位: 千円)

	株主資本							
	資本金	資本剰余金			利益剰余金			利益剰余金 合計
		資本準備金	その他資本 剰余金	資本剰余金 合計	利益 準備金	その他利益剰余金		
					別途 積立金	繰越利益 剰余金		
当期首残高	744,896	637,896	59,754	697,650	117,500	2,650,000	3,991,328	6,758,828
当期変動額								
剰余金の配当							△143,495	△143,495
自己株式の取得								
自己株式の処分			11,772	11,772				
当期純利益							2,065,512	2,065,512
株主資本以外の項目の当期 変動額 (純額)								
当期変動額合計	—	—	11,772	11,772	—	—	1,922,017	1,922,017
当期末残高	744,896	637,896	71,526	709,422	117,500	2,650,000	5,913,345	8,680,845

	株主資本		評価・換算差額等		純資産合計
	自己株式	株主資本合計	その他有価証券 評価差額金	評価・換算 差額等合計	
当期首残高	△458,297	7,743,078	11,510	11,510	7,754,588
当期変動額					
剰余金の配当		△143,495			△143,495
自己株式の取得	△81,077	△81,077			△81,077
自己株式の処分	29,916	41,689			41,689
当期純利益		2,065,512			2,065,512
株主資本以外の項目の当期 変動額 (純額)			12,806	12,806	12,806
当期変動額合計	△51,160	1,882,628	12,806	12,806	1,895,435
当期末残高	△509,457	9,625,706	24,317	24,317	9,650,023

## (4) キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前事業年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当事業年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前当期純利益	1,426,537	2,681,959
減価償却費	373,803	447,943
賞与引当金の増減額 (△は減少)	53,323	53,280
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	3,945	16,979
製品保証引当金の増減額 (△は減少)	2,072	1,504
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	140,685	19,147
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	9,212	2,760
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	4,371	1,438
支払利息	31,186	40,525
固定資産除却損	141,289	636
売上債権の増減額 (△は増加)	△1,150,649	△367,191
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△669,882	△483,013
仕入債務の増減額 (△は減少)	529,347	△372,441
未払消費税等の増減額 (△は減少)	20,452	274,188
その他	141,432	166,494
小計	1,057,125	2,484,212
利息及び配当金の受取額	1,437	1,528
利息の支払額	△32,962	△42,007
法人税等の支払額	△477,332	△443,103
営業活動によるキャッシュ・フロー	548,267	2,000,629
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△1,966,574	△1,449,536
有形固定資産の除却による支出	△116,000	—
無形固定資産の取得による支出	△111,297	△44,014
その他	238	△10,871
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,193,632	△1,504,422
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	630,000	△255,000
長期借入れによる収入	550,000	500,000
長期借入金の返済による支出	△147,632	△176,191
割賦債務の返済による支出	△30,138	△3,409
リース債務の返済による支出	△9,273	△480
配当金の支払額	△92,563	△143,519
自己株式の取得による支出	△166,569	△81,285
自己株式の処分による収入	—	41,689
財務活動によるキャッシュ・フロー	733,822	△118,196
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△911,542	378,010
現金及び現金同等物の期首残高	2,249,627	1,338,085
現金及び現金同等物の期末残高	1,338,085	1,716,096

- (5) 財務諸表に関する注記事項  
(継続企業の前提に関する注記)  
該当事項はありません。

(持分法損益等)  
当社は関連会社を有していないため、該当事項はありません。

(セグメント情報等)

**【セグメント情報】**

当社の事業は、空調システム機器の開発・製造・販売の単一セグメントであるため、記載を省略しておりません。

**【関連情報】**

前事業年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

1. 製品及びサービスごとの情報

単一の製品・サービスの区分の外部顧客への売上高が損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦以外の外部顧客への売上高がないため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦以外に所在している有形固定資産がないため、記載を省略しております。

3. 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、損益計算書の売上高の10%を占める相手先がないため、記載を省略しております。

当事業年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

1. 製品及びサービスごとの情報

単一の製品・サービスの区分の外部顧客への売上高が損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦以外の外部顧客への売上高がないため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦以外に所在している有形固定資産がないため、記載を省略しております。

3. 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、損益計算書の売上高の10%を占める相手先がないため、記載を省略しております。

**【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】**

前事業年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

該当事項はありません。

当事業年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

該当事項はありません。

**【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】**

該当事項はありません。

## 【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

該当事項はありません。

## (1株当たり情報)

	前事業年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当事業年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
1株当たり純資産額	2,161.63円	2,697.91円
1株当たり当期純利益	285.64円	576.99円

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2. 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前事業年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当事業年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
当期純利益 (千円)	1,037,141	2,065,512
普通株主に帰属しない金額 (千円)	—	—
普通株式に係る当期純利益 (千円)	1,037,141	2,065,512
普通株式の期中平均株式数 (株)	3,630,939	3,579,825

## (重要な後発事象)

## (重要な設備投資)

当社は、2024年4月12日開催の取締役会において、以下のとおり固定資産の取得（第二試験研究棟建設）について決議し、2024年10月に契約締結予定であります。

## (1)取得の理由

製品の試験、実験、検証を基にさらなる高効率化製品の開発、導入を図るため。

## (2)取得資産の内容、取得時期

- ①所在地 三重県津市河芸町
- ②資産の内容 建物（事務所、実験室）および設備等
- ③施工床面積 延420㎡ 1階建
- ④取得価額 約600,000千円（建物、設備等の合計）
- ⑤物件引渡日 2026年3月（予定）

## (3)取得資金

金融機関からの借入金および手元流動資金

## (4)当該設備が営業・生産活動に及ぼす重要な影響

当該固定資産の取得は2026年3月を予定しているため、2025年3月期の業績への影響は軽微であります。中長期的な観点において業績向上に資するものと判断しております。